

療育研修会

北海道 支部

◆テーマ 1

筋ジストロフィーなど重度障がい者への在宅福祉サービスについての行政説明

講師: 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課長 徳田 泰則

【内容】

1. 重度訪問介護と移動支援について
 2. 重度訪問介護(市町村との連携について)
-

◆テーマ 2

北海道医療センターにおける筋ジストロフィーに対する集学的医療の展開

講師: 国立病院機構北海道医療センター院長 伊東 学

【内容】

1. 北海道医療センターが担う医療について
 2. NIVセンター・神経筋/成育外来センターについて
 3. 神経筋情側弯症手術の現状と課題
-

療育研修会実施状況

北海道 支部 参加数 41 名

実施場所 北海道医療センター



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

★ 道の福祉制度についてもっと具体的な例で聞きたいと思いましたが。本日は資料を見ればだいたい理解できることだけでした。さらなる充実がなされ、私たちが遠慮なく外出できるようになればと思いました。

★ 国立精神神経研究センターにて最新の研究、そして未だ型が定まっていない方に対してどのように動けば良いか方向性を示す会もお聞きしたいですね。

★ 僕はデュシェンヌ型筋ジストロフィーで北海道医療センターに入院しています。今回院長先生からお話を聞き、自分はいかに恵まれた環境で生活できているか、改めて感じる機会になりました。それと同時にこんなに素晴らしい環境なのに病棟スタッフの人手不足によって、個人的に少し居心地が悪く感じているので、とても残念なことだと思いました。今後は病棟スタッフの人材確保が最重要課題だと思います。また、最近の研究で筋ジストロフィーに対して整形外科治療が有効なのかもしれないという結果が出ていることを知り、自分たちがその治療を受けることはないと思いますが、着実に筋ジストロフィー治療の方法が確立されてきているのだと感じました。在宅福祉サービスに関しては、今後退院を考えていたので、大変勉強になりました。ありがとうございました。

